

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年4月12日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4679500092
法人名	社会福祉法人 ともお会
事業所名	さくら園グループホーム
所在地	鹿児島県大島郡知名町知名阿木名1949番地 (電話) 0997-93-5151
自己評価作成日	平成26年3月7日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年3月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- 日々の生活の中で庭先に見える桜、百合等、四季の草花を楽しまれたり、昔ながらの家庭菜園(パパイア、ハンダマ、アロエ、ねぎ、きんかん等)の収穫を楽しみながら、特養の栄養士によるバランス良い朝、昼、夕の食事を「美味しいねえ」と食べられ「長生きしようねえ」と会話が弾まれている。
- 健康チェック、体ほぐし、ホーム歌を打楽器(空かん、マラカス、鈴、タンバリン等)を手に持ち「できる楽しい」と自然に気持ちがわき上がって、皆さんが和やかに過ごされている。
- 行事や地域への参加(夏まつり、敬老会、運動会、クリスマス会、島唄会、誕生会、参拝、四並蔵神社相撲見学、お墓参り、花見等)ほぼ毎日のように面会者とお茶会など深められるようにしている。
- 食堂ホールでは、毎日のバイタルチェック、体ほぐしやカラオケ、テレビ鑑賞を楽しまれたり、ソファでは利用者同士、仲良く会話されている。また気候にあわせ庭の草花を眺めながら、日向ぼっこやお茶会、花見など室外で楽しんでいる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・利用者の各居室にはトイレと洗面所が設置されており、歩行困難の利用者の転倒予防対策として、夜間時にベットをトイレに近づけて安全を確保する等の支援を行っている。
- ・母体の特別養護老人ホームが隣接し、職員研修や災害訓練・緊急時の対応など協力体制が万全で、利用者や職員にとって安心である。
- ・職員の意見やアイデアが業務に反映され、排泄の自立に向けた工夫や勤務時間の変更・交替制など職員は意欲的に仕事ができている。
- ・利用者は日常的に自由に庭への出入りができ、畑の散歩や花の手入れなどを楽しみ、ゆったりとした生活ができている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎年の事業計画資料に掲載し、職員研修会での朗読説明し、会議室やホームに掲示してあり職員は理念を共有し、日常業務でその実践に向けて取り組んでいる。	理念は事業所内のホールに掲示し、朝礼で唱和し職員全員で共有し、理念を支援につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	三大行事に地域住民が参加できるように宣伝行い、又地域のイベントに積極的に参加している。慰問の見学や島唄会、買い物などにて地域住民との交流が図られている。	町文化祭への参加や小学校児童との交流・保育園の行事への参加・地域住民の慰問を受け入れる等、今年は専門学生の体験学習も受け入れている。近所の畑に野菜の収穫の手伝いに行ったり、野菜の差し入れなどもあり、地域住民との交流を支援している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	職員が字婦人会の役員をしたり、ボランティア活動に参加し、地域住民との交流に努めている。学生の職場体験学習の受け入れや地域住民の研修の受け入れを積極的にしてグループホームについての理解を深めるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議においては、利用者の状況、事業活動経過等を報告し、委員の皆さんが意見や要望を出せる雰囲気づくりにい努めている。また意見、要望については全職員で改善策を検討し改善に努めている。</p>	<p>会議はホームや利用者の状況を報告し、外部評価結果も報告している。色々の意見や要望・提案が出され、会議の中での意見で改善する事もあり、サービスの向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>電話連絡や認定更新時を通じ連携に努めている。運営推進会議に参加していただき、ご指導を仰ぐように努めている。</p>	<p>町担当者とは電話での相談や更新や申請時に事業所の実情を報告し、アドバイスを受けるなど協力関係を築くよう取り組んでいる。町担当者も運営推進会議への参加等でホームを訪ね連携を取り合い、協力関係ができています。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束マニュアルに基づき、身体拘束をしなければならない状況をつくらない。五つの基本的ケア（①起きる ②食べる ③排泄する ④清潔にする ⑤活動する）に努めている。</p>	<p>母体施設や同系列事業所との全体会で年に3回、身体拘束をしないケアの研修会を行っている。職員間で気づいた事などは工夫して改善している。玄関の施錠は日中はせずに外に出ていく気配の利用者には、職員の連携プレーで見守りを行う等、自由な生活を支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	鹿児島県や包括支援センターからの資料等にて合同職員会やグループホーム職員で勉強会を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	地域包括支援センターや役場と連絡を行い、必要に応じて指導を仰ぎ、職員間では勉強会を行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	重要事項に添って十分な説明をし、特に利用料や事業所・職員に対する苦情、要望については些細な事でも声かけされるように説明をしている。担当ケアマネジャーや、地区の民生委員等と連携を密にして十分な説明をして理解を深めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見箱を設置したり、また日常業務のなかで利用者が職員に何でも話せる信頼関係を築くように努めている。	個々の利用者に担当の職員を決め、利用者や家族が意見や要望などを職員に気軽に話せるように配慮している。家族の面会も多い。心身状態が悪化した利用者の家族の要望で、母体施設で対応する等、意見や要望を運営に反映させている。三者交流会をもうけるなど何でも話せる雰囲気作りをしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月の代表者会、職員の全体会等を定期的で開催して職員の意見を運営に反映させるように努めている。	職員会を毎月実施し、職員からの意見や提案は運営に反映できるように努めている。業務体制の見直しの提案で、勤務の改善を図り、職員の仕事の負担を少なくする等、運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	社会福祉制度、介護保険制度、社会情勢の変化に対応して諸規定の整備を図ると共に安心して働ける環境づくりに努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	郡、県の協議会に加入して、各研修会に参加するように努めている。また島内の研修会には夜勤者を除いて全員研修に参加するようにしたり、毎月の合同勉強会などに努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	郡、県のグループホームで、相互訪問体験活動を実施したり、介護福祉会のレベルアップ講習会など通して、お互いにサービスの向上を目指している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居に至るまで、本人と良い関係が保てるように受け止め、生活暦や趣味など知り、理解を深めなじみの会話等を行えるようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の都合に合わせ、話し合いの機会をつくり、心配事や困っていることなど受け止めるようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	担当ケアマネジャー、管理者計画作成担当で検討、説明し最も適切なサービス提供に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	バックグラウンドの理解を深め、様々な場面で、さりげないケアができるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	生活暦を大切にしながらともに本人を支えているよう努め、家族会、夏まつり、敬老会、運動会、クリスマス会、年の祝いなど家族にも参加して頂き本人を支えていけるように関係づくりをしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	字巡りや友人との面会ができるように野外活動を実施している。家族や知人、友人の面会時には、本人の居室にてお茶等を準備して楽しく談話してもらっている。	遠方の家族との電話の支援や同系列の通所利用者の友人の面会など、馴染みの関係が途切れないよう支援している。利用者の出身集落を訪問したり、本人の希望で墓参り等を支援したり、家族等の面会時には、お茶を出す等、馴染みの関係が途切れないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	趣味や楽しみを共に利用者同士が関わり合えるように支援しながら、難聴者など個別の説明や会話ができない方や理解できない方には表情や様子等から推察支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	お見舞いや食事の介助など、入院時は行ったり家や他の施設に移行された方とは、面会や交流を図り、利用者同士が喜び会話など楽しまれている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人と話し合ったり思い等のケアに努めている。困難な場合は家族と話し合い、本人の思いに近づけるように（一人ノートや言動の見守り）を取り組んでいる。	利用者とゆっくり話す中で、思いや意向を記録ノートに記し、職員全員が共有し把握している。困難な場合は家族や友人等から話を聞き、職員で話し合い本人中心に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居当初に生活歴、趣味、学歴、習慣等情報を収集し、日々の生活に生かせるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その日の心身状態を気づかい把握し、本人が不安なく安心して過ごしていただけるように推察し、確認しながらケアに努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回ケア会議や状態変化時に検討し、職員間のモニタリング実施、本人家族関係者とは個々のケア記録を作成し、面会時や状態変化時もしくは6ヶ月に見直しを行うように努めている。	介護計画は利用者や家族からの聞き取りを行い、それを基に職員で話し合い、介護計画を作成している。月1回のケア会議での状況やモニタリングを6ヶ月に1回行い、状態変化時には見直しを行うようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々のケア記録を個別化し、情報を共有しながらできること、できないことをケア計画書で実践している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>病院、特養、地域のケアマネジャーや居宅介護支援事業と必要に応じ、サービスがとぎれないように支援している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>保育園児、小中学生との交流会、消防署との訓練、ボランティア、各団体の慰問などがあり楽しまれている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>専門医（整形外科・眼科・耳鼻科・歯科・皮膚科等）に送迎し受診の支援を行っている。</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医での受診を支援している。月3～5回の往診を受けている。眼科や耳鼻科・歯科などの医療機関の受診は家族で、農繁期の忙しい時期は職員で対応して、家族に報告し適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 <small>看護職員は、日々のケアの中でこつこつと</small> えた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	かかりつけ医師の看護師、特養とデイサービスセンターの看護職員と相談しながら支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は面会に行ったり、その都度、情報交換に努め、早期退院への話し合いや、退院時のサマリーなどで情報交換をしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合のあり方について、グループホームは看護職員がいないことを伝え、本人や家族の意向を聞き方針を共有し、安心した生活ができるよう取り組んでいる。	事業所での重度化や終末期の方針について、入居時の早い段階で本人や家族に説明を行っている。食事が口からの摂取が可能であれば事業所で対応し、医療行為を要する段階で、母体の施設で支援している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	病院の看護師や、特養、デイサービスの看護師の指示、助言、訓練を行ったり、症状別対応マニュアルを職員会で勉強し身につけるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	入居者と共に、年2回は避難方法を身につけるようにしている。また隣接の特養とも連携を密にしている。	消防署立ち会いのもと、火災避難訓練を年2回、母体施設と連携を図り実施している。台風時は隣接のデイサービス施設に避難している。災害時の水やレトルト食品等、備蓄もされている。緊急連絡体制や隣接の母体施設の協力体制ができている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	島言葉など学び、声かけに努めている。排泄は各自のトイレで行い、食事前の手洗いに声かけし、個々にあった声かけをし、プライバシーの確保に努めている。	ケア提供中にプライバシーを損ねる言葉かけや対応に気づいた時は、メモに残し全職員で一緒に話し合いを行っている。職員会で常に自分が嫌な思いをするような言葉はしないように、排便時の失敗の時の言葉使いなどは特に気をつけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	生活暦などから本人との会話を深めて、その人の楽しみや思いなどをひきだし、納得しながら暮らしていただけるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	できる限り入居者の一人一人の言動を大切に、コミュニケーションを図りながらその方のペースに合わせた支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人の望む衣料店や理容所、美容院などに送迎したりしている。自室の洗面台の鏡で「きれいね一等」の声かけに努め、好みの洋服タンスから本人が選べるように援助している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	本人の好きな食べ物（さつまいも・コーヒー・黒糖等）料理の色彩や形、食器、盛り付けなど見て食欲がわくようにしている。野菜の下ごしらえや食器洗い、下膳、お膳拭き、茶碗拭き等、職員と一緒に語り合いながら行っている。	個々の力量を活かし、園庭の畑で野菜の採取や食事準備・後片付け等を職員と一緒に楽しみながら行っている。事業所の玄関先でかき氷やたこ焼き・シャボン玉遊びなど、目で見て楽しみ、味わって楽しむなどの支援も行い、誕生会のケーキ作りや弁当持参での花見など、食事を楽しむ支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士の献立によりバランスの良い初期時の取り組みを実施、一人一人の水分、食事の確認チェックを毎食行い、特に水分が摂取できない方には代替えの工夫をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアに声かけし、口腔清潔の必要性を説明しながら、口腔状態に応じた口腔ケアをしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンに合わせ、トイレでの排泄に向けた取り組みを行いながら、しぐさや様子から訴えなくてもトイレで排泄できる場を築いている。食前など時計を見て頂き手洗いに行きましょうとスムーズにトイレに行かれています。	利用者の排泄パターンに応じた個別の排泄支援を行っている。歩行困難の利用者の排泄支援で、居室に設備のトイレにベッドを近づけて排泄が自力で支障なく行えるよう対応している。夜間は時間で声かけし、排泄の自立に向けた支援をしている。職員のアイディアで鈴を活用するなど自立に向けた支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日、排便チェックを行い、医師の指示による暖下剤の服用を行いながら、運動や飲食物（パイヤ、さつまいも、アロエ茶、スキムミルク等）を工夫し摂っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	個々の心身状態に合わせてながら好みの着替えの準備を一緒に行い、入浴時の言動を大切に援助し浴槽内では語り合い、手足を動かしながら持歌など自ら歌いだされている。	入浴は週2回午後からと決まっているが、希望に応じて対応している。介助する職員との対話を楽しんだり、友達同士での入浴を支援している。整髪剤も好みのもを使用し、個々に応じた入浴の支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	状況に応じた活動や言動に付き合いながら、時々温かい飲み物や黒糖など摂って頂き気持ちが落ち着き休めるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	かかりつけ医の指示や、薬剤表などから病状や効能など照らし合わせている。副作用については回診時や受薬時又は薬の知識編などにて理解を深めるように努めている。服薬後の症状の観察に努め、回診時など医師と相談し指示を仰いでいる。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人のバックグラウンドを理解し、一人一人のできる役割、楽しみ事への取り組み(島唄・島踊り・持ち歌・島料理・お膳拭き・お茶碗拭き・野菜ちぎり・草取り・編み物・縫い物・カラオケ等)をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	施設周りの散歩や日光浴等。職員との買い物・園外活動等。家族によるドライブや外泊などの援助。又は地域の色々なイベントには家族や地域の人々に協力していただきながら参加し、外出の機会を増やしている。	日常的には、利用者全員で事業所近くの野菜畑の散歩を楽しんだり、個々の居室から、利用者が園庭に出て戸外の空気を楽しんだり、畑の野菜に水をかけたりしている。地域のイベントに参加し地域住民との交流を楽しんでいる。買い物やドライブなどの遠出の時は、家族の協力のもとに支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人と家族の希望に応じている。入居者の程度に応じ、お金の所持、使用をしてもらい支援に努めている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>島外の家族へは、電話をかけ一声だけでもと機会をつくっている。また、希望に応じ、電話や手紙などやり取りしてもらっている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>安心して過ごしていただけるようにして、職員でアイデアを出し合いながら、生活歴や季節感を大切にしながら、入居者にとって不安感など招かないように努めている。</p>	<p>共用のホールは広く、高い天井とガラス窓から入る光で明るく、外の景色や庭の花園や遠くの畑などが眺められる。馴染みの島唄や童謡の音楽が流れ、全体的にゆったりとした空気が漂っている。ホールと玄関入口には四季折々の飾り付けがあり、季節を目と肌で感じられるように工夫されている。食堂も利用者が気軽に手伝えるようにオープンな作りになっている。体験学習に来た学生との交流の写真や手紙なども飾られている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>好きなテレビを一人で楽しんだり、カラオケ、雑誌、新聞などに目をとおしたり、持ち歌を楽しまれたり、入居者同志での会話や、一人で自室にてゆっくりとされている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人や家族と話し合い、使い慣れた寝具、タンス、仏壇、本人が大切なものなど居室に取り入れ、居心地よく過ごせるように工夫している。希望により同室で宿泊できるように配慮、準備している。</p>	<p>利用者が自宅で使っていた家具や仏壇・寝具類が持ち込まれ、家族の写真も壁に飾り、それぞれが居心地よく過ごせるように工夫している。各居室は気軽に園庭に出やすいバリアフリーの造りになっている。部屋にトイレが設置されているので、プライバシーが守られ、安心して生活されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>調理台、流し台等の高さなど考慮、ホール内は手すり、また各自の居室には洗面台、鏡、トイレやタンスもあり、一人一人の力に応じて、「できること」「わかること」を行ってもらえるように努めている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない